

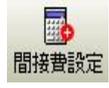
## 電気設備

# 複数間接費の紐付（電気設備）

設計書取り込み後の、間接費の設定方法をご説明します。

## 1. 間接費を設定する

機器単体費の直接工事費内の行を選択し



をクリックします。



「間接費の選択」画面で、「機器単体費」を選択します。右下 [次へ] をクリックします。



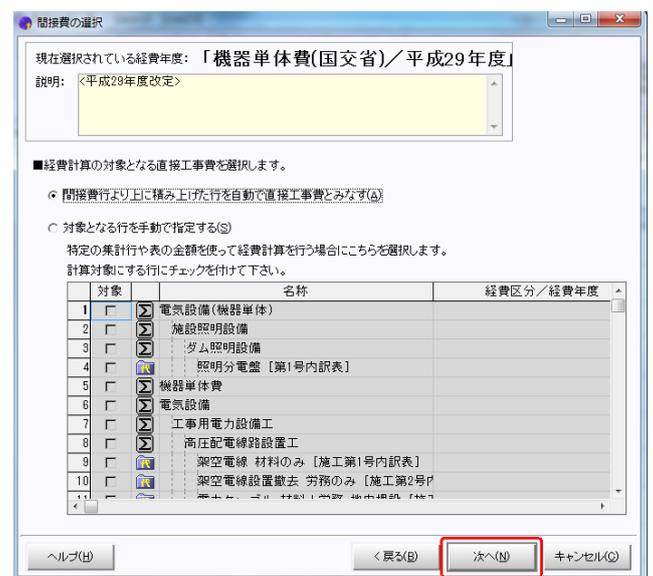
経費計算の対象となる直接工事費の選択画面が表示されます。以下どちらかを選択します。

■ 間接費行より上に積み上げた行を自動で直接工事費とみなす。

機器単体費の間接費項目よりも上に積み上げられたものは、機器単体費の直接工事費として扱います。

■ 対象となる行を手動で指定する

経費計算で特定の集計行や表の金額を使用する場合、計算対象にする行にチェックを付けます。機器単体費以外に一般工事の直接工事費を計上している場合は、こちらを選択し、機器単体費の行のみ「対象」にチェックを付けます。



選択後、[次へ] をクリックすると、「間接費紐付け」画面が表示されます。

画面左側に取り込んだ設計書の間接費項目が表示されます。

画面右側に Gaia の間接費項目が表示されます（赤色の行が、紐付けが必要な行です）。

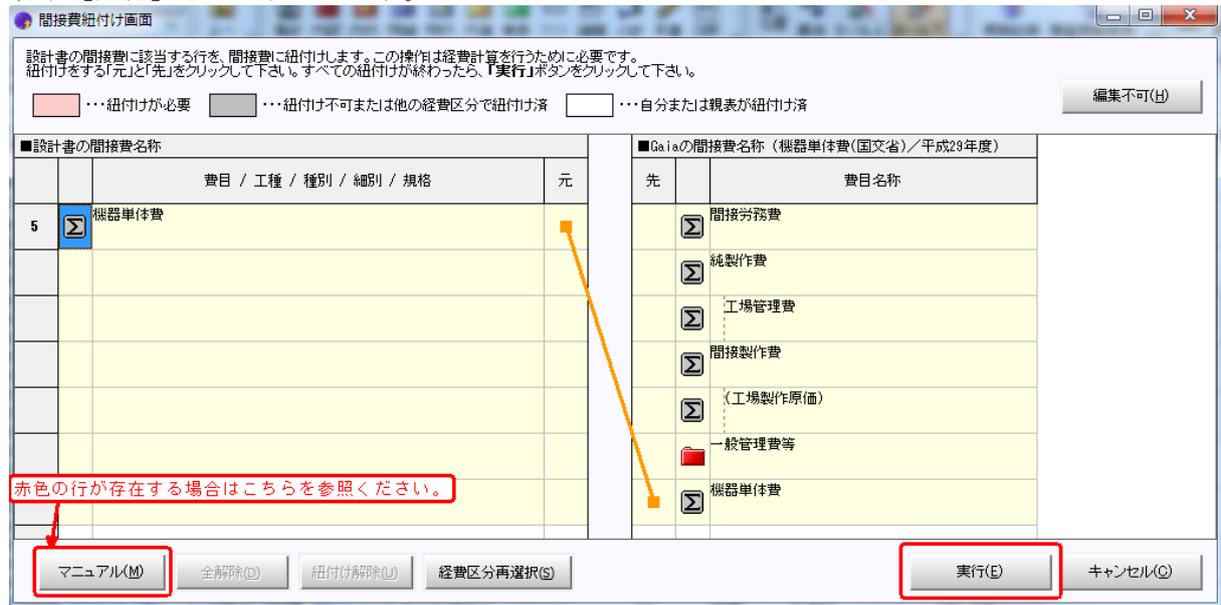
・赤色の行が存在しない場合：

紐付け設定の変更が不要な場合は、そのまま [実行] をクリックします。

・赤色の行が存在する場合：

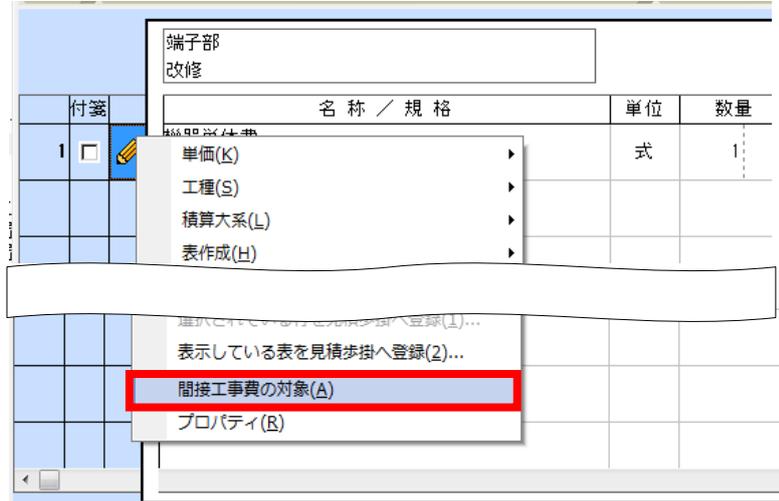
紐付け設定を行ってください。「間接費紐付け」画面の右下[マニュアル]ボタンを押すと、画像付きの手順書が表示されます。P3-8～P3-11 をご参照ください。

「設計書の間接費名称」と、「Gaia の間接費名称」が紐づいていることを確認し、右下 [実行] をクリックします。



●設計書で一般工事の直接工事費の中に機器単体費の単価が計上されている場合「機器単体費」の間接費を作成する必要はありません。

一般土木の直接工事費に機器単体費を計上し、右クリックから [間接工事費の対象] を選択して、「間接工事費の対象」を設定する画面を開きます。



- ① [項目を指定する] を選択します。
- ② [機器単体費] にチェックを付けて [OK] をクリックし経費計算を行います。

「機器単体費（国交省）」の間接費を作成して経費計算を行っても結果は同じですので、実際の設計書で間接費の確認をし、積算を行います。

プロパティ - 機器単体費

一般 | 詳細 | 間接工事費の対象

○ 間接工事費の対象を指定する(A)

共通反設費    現場管理費    一般管理費

↳  イメージアップ経費    対象とする    対象としない

経費区分フィルタ: なし

○ 項目を指定する(B)  
(間接工事費の対象額が自動で計算されるようになります。)

(直接労務費(共通×現場×一般○))  
 (工場塗装費(共通×現場×一般○))  
 **機器単体費(製作のみ)**  
 (処分費等)  
 (桁等購入費(共通×現場○一般○))  
 (光ケーブル(共通×現場○一般○))  
 (鋼橋門扉等工場原価(共通×現場×一般○))  
 (電気通信技術者)

○ 支給品に指定する(C)

支給品費等 機器単体費  
 支給品費等 桁等購入費(共通×現場○一般×)  
 支給品費等 光ケーブル(共通×現場○一般×)  
 支給品費等 一般材料費(共通○現場○一般×)  
 支給品費等 電力(共通○現場○一般×)  
 支給品費等(共通○現場×一般×)  
 支給品費等(共通○現場×一般○)  
 支給品費等(共通×現場○一般○)

OK   キャンセル

## 電気通信

# 一般工事の間接費作成

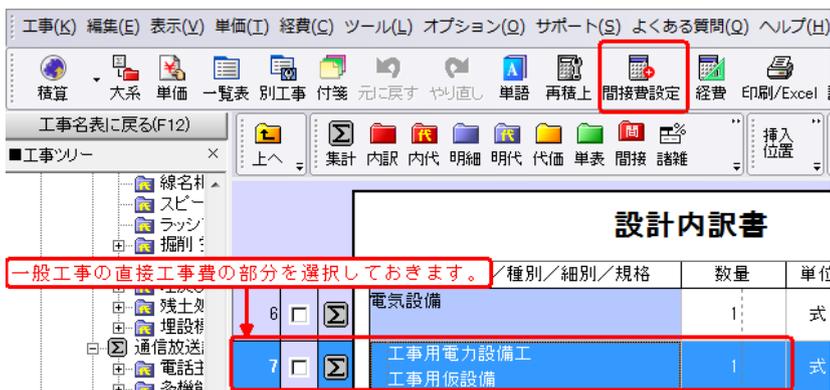
次に「一般工事（直接工事費）」の間接費を設定をします。

## 1. 間接費を設定する

一般工事の直接工事費内の行を選択し、



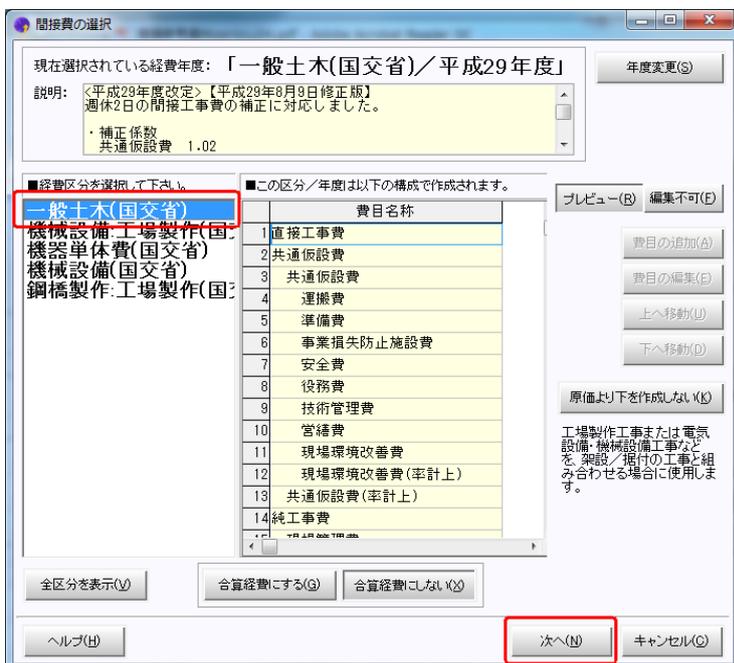
をクリックします。



## 2. 間接費の選択をする

「間接費の選択」画面が表示されます。  
経費区分「一般土木（国交省）」を選択し  
[OK] をクリックします。  
(間接費設定の場合、「間接費の選択」画面の  
後に間接費の紐付け画面が表示されます。)

(「国交省(一般土木)」の経費は、  
発注者ごとに表示名称を  
変更している場合があります。)



# 電気設備

## 経費計算

電気通信の「機器単体費」・「一般工事」の間接費設定後、  
経費計算を行います。

### 1. 経費条件を選択する

「本工事費内訳書」画面にて  
[経費] メニューの [経費計算] または

ツールバーの  をクリックします。

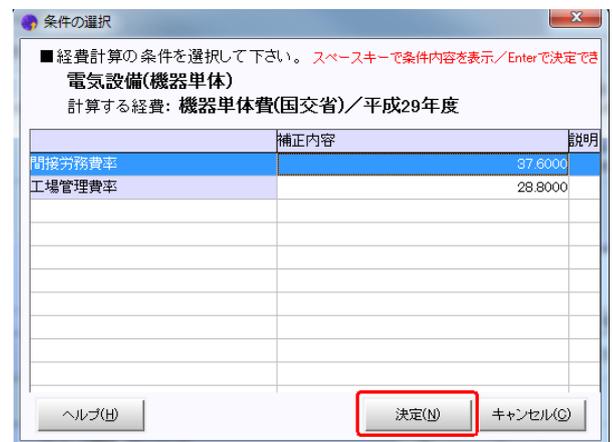


「再積上げの処理選択」画面が表示されますので、  
設定内容を確認し [OK] をクリックします。



### 2. 経費条件を選択する

機器単体費の「条件の選択」画面が表示されます。  
補正内容を確認し、[決定] をクリックします。



次に一般土木の「条件の選択」画面が表示されます。  
条件を選択し、[決定] をクリックして下さい。

電気通信の経費では、技術者間接費を  
計上するために「技術者間接費率  
(電気通信)」の条件選択が必要です。

この工種区分の選択により、間接費の  
対象とした「技術労力費」「電気通信  
技術者」「電気通信技術員」「SI 技術  
労力費」「SI 電気通信技術者」「SI 電  
気通信技術員」の技術者間接費率が決定  
します。



### 3. 経費一覧の確認

経费率（共通仮設费率・現場管理费率等）・経費金額がそれぞれ自動計算され、「経費一覧」画面が表示されます。

経費内容を確認し



をクリックします。

経費が決定し、「本工事費内訳書」画面が表示され、経費計算を終了します。

費目名	率	金額	計算式(数値)
1 電気設備(機器単体)		条件選択	
2 機器単体費		14,720	14,720
3 電気設備		条件選択	
4 直接工事費		122,677,127	
5 共通仮設費		9,850,000	1,153,000 + 8,697,000
6 共通仮設費(率計上)	7.09%	8,697,000	((122,677,127 * 7.09 / 100) - 0) * 1
7 純工事費		132,527,127	122,677,127 + 9,850,000
8 現場管理費	22.59%	29,937,000	(132,527,127 * 22.59 / 100) * 1
9 機器間接費		2,000	2,000
10 技術者間接費			
11 機器管理費	18.22%	2,000	14,720 * 18.22 / 100
12 工事原価		162,466,127	132,527,127 + 29,937,000 + 2,000
13 一般管理費等	13.32%	21,639,153	(((((162,466,127 * (13.28 + 0 + 0)) / 100)))
14 工事価格		184,120,000	184,120,000 * 1
15 消費税相当額	8%	14,729,600	184,120,000 * 8 / 100
16 工事費計		198,849,600	(((((184,120,000 + 14,729,600))) * 1

直接工事費が変更された場合は、ツールバーの をクリックすると、経費計算を更新します。

経費の条件や工種区分を変更したい場合は をクリックすると、各工区の「補正内容」が再選択がきます。

費目名	率	金額	計算式(数値)
1 電気設備(機器単体)		条件選択	
2 機器単体費		14,720	14,720
3 電気設備		条件選択	
4 直接工事費		122,677,127	